

【事業名】 服の決まり手 82手

【事業代表者】 JR西日本SC開発株式会社

【共同事業者】 株式会社コネル

目的

衣料品が不要になった際に、「捨てる」以外の選択肢を提供することで衣料品廃棄の削減を目指す

概要

「捨てる」以外の選択肢を提供し、自らの価値観にあった手段の選択を促すプロジェクト。

概要

本取組「服の決まり手82手」オンラインとオフラインの両方を活用し、これまで「本当は廃棄するのは気が引ける、罪恶感がある」と感じていた生活者のみなさまに対し、廃棄せずに済むという選択肢を与えることで「気持ちのよい生活」を提案するサービスです。



服の決まり手 82手



《PRポイント》

衣料品が不要になった際、生活者一人一人が自分にあった手段を自ら選択し、能動的に取り組んでもらうことがもっとも必要だと考え、本取組では、当社がこれまで商業施設の運営の中で培ってきた、顧客の共感と呼ぶマーケティング手法を活かし、「面白そう」、「体験してみたい」という生活者の興味・関心を惹きつけ、衣料品廃棄の社会課題解決を目指します。さらに、既に自らが選択している手段(例:フリマアプリに出品する)も環境にとって良い行動であるという気づいていただくという側面も持ち合わせています。

《具体的な取り組み》

衣料品が不要になった際の手段は、無数にあるものの、そもそも生活者には認知されていないものも多く、選択肢の候補にすらなっていないのではと仮説を立てました。

そこで、日本の国技であり、多くの生活者が目にしたことのある‘相撲’から着想を得て、「服の決まり手82手」というPRにより、これまで環境に配慮した行動ができていなかった生活者をも取り込み、衣料品廃棄の課題解決を目指します。

オンラインでは、「服の決まり手」をまとめたポータルサイトを立上げ、多様な決まり手を検索・閲覧できることに加え、コミュニティ機能も擁し、「服の決まり手」を認知するのみにとどまらず、他の生活者がどのような行動をとっているのかも認知することができるようになります。

オフラインでは、当社グループが各地の流動の多いリアルな場を持っているという強みを十分に活かし、各地域で実際に捨てる以外の手段を体験するイベント(例:黒染めイベント・リペアイベント)を行うとともに、告知を行いリアルの場としても82手を促進していき、多くの生活者の行動変容を促す取り組みです。